

# 卒業電車

神山暁美

山のふもとにある　ちいさな町の小学校

校庭をとりまくフェンスの向こう側

授業と授業のあいだの休み時間に

毎日きまって赤い電車が走ってくる

あすは卒業式　六年生はさいごの授業

「つぎの休み時間は校庭に集まってください」

担任の先生のことばがチャイムにかさなる

でも　みんなは集合の理由わけを知らない

ウィーンウィーン　ガタゴトガタゴト

いつもの電車が菜の花をゆらしやっけて来た

先頭せんとうの車両に運転手と　もうひとり

紺こんの制服・制帽せいぼう　真っ白な手袋てぶくろで敬礼をして

在校生もふり向くようなまのびした警笛<sup>けいでき</sup>  
止まりそうなほどゆつくりと電車が通る  
その窓のひとつひとつに大きな文字が

「祝 卒業 ・ 夢 の 実 現」

白い手袋はこの小学校の卒業生

若かった校長先生が始めて送り出した

「電車の運転手になる」と約束した男の子

いま この町の駅長さんになっている